

町田市自転車活用推進計画

計画の背景・目的

背景

- ◆ 働き方や学び方が変わり、自宅や近所で過ごす時間が増加するこれからの時代は、自宅周辺の地域の中を快適に移動できるかが、生活の質や地域の魅力を高めるために重要な要素となります。
- ◆ 「町田市都市づくりのマスタープラン」においても、「地域の中を快適に移動できる『小さな・ゆったりとした』交通を生み育てる」ことを、施策の柱の一つとして掲げています。
- ◆ 「小さな・ゆったりとした」交通の中でも自転車は、環境に優しく健康にも良い移動手段として、また、アフターコロナの新しい日常に対応する移動手段として、重要性を増しています。

目的

町田市の自転車を活用する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、自転車活用推進法に基づき「町田市自転車活用推進計画」（計画期間：2022年度～2026年度）を策定します。

現状を踏まえた課題および可能性

自転車に関連する町田市内の現状を踏まえた上での、自転車の活用を推進するに当たっての主な課題及び可能性は以下のとおりです。

項目	現状	課題及び可能性
自転車の利用環境	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの市民の方が「自転車を利用しやすい環境づくり」を希望している。 ・放置自転車台数は減少傾向も、依然として年間10,000台前後発生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的かつ迅速な自転車通行空間の整備 ・実態に即した放置自転車対策の実施
自転車の安全・適正利用	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車事故件数は、増加はしていないものの、年間200件前後発生している。 ・自転車損害賠償保険に加入している市民の割合は、約60%に留まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車事故防止に向けた交通ルールやマナーの啓発 ・自転車損害賠償保険加入の必要性についての周知
観光・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・北部丘陵を自転車で訪れる人の増加や、里山を活用した地域主体のマウンテンバイクコースの整備が始まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車をテーマにした北部丘陵のにぎわい創出推進
環境・健康	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車使用による二酸化炭素排出量の割合は横ばいの状況にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車から環境に優しい移動手段である自転車への利用転換促進

目指す姿及び 基本的な考え方

2040年の町田市内での暮らしをイメージした「町田市都市づくりのマスタープラン」方針編(交通)の基本方針である『日常的な移動を多様な担い手・手段で支え、移動しやすい持続可能な交通環境をつくること』を将来的な目指す姿とし、その実現に向けて、「4つの施策の柱」を立て、ハード・ソフト両面で自転車活用を総合的かつ計画的に推進します。

施策の柱Ⅰ はしる



歩行者の安全を確保しながら、自転車を安全・快適に利用できる環境づくりに向け、自転車通行空間の整備やシェアサイクルの拡充に取り組みます。

◆ 取組内容

1. 安全安心に利用できる自転車通行空間の充実
2. 気持ち良く走れるサイクリング環境の創出
3. 気軽に利用できるシェアサイクルの拡充

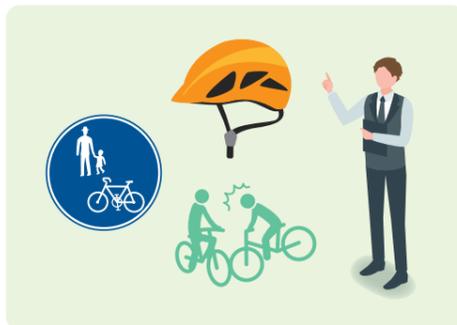
◆ ピックアップ取組

「1. 安全安心に利用できる自転車通行空間の充実」
自転車や歩行者の利用需要が多い箇所や、自転車利用者が集中する施設に接続する箇所に、普通自転車専用通行帯(自転車レーン)等の整備を進めます。



整備された普通自転車専用通行帯

施策の柱Ⅲ まもる



誰もがルールを守り安心して自転車を利用できる環境づくりに向け、交通安全学習の充実や自転車損害賠償保険の加入促進に取り組みます。

◆ 取組内容

1. 交通安全学習の充実
2. 自転車損害賠償保険加入の必要性の周知・徹底

◆ ピックアップ取組

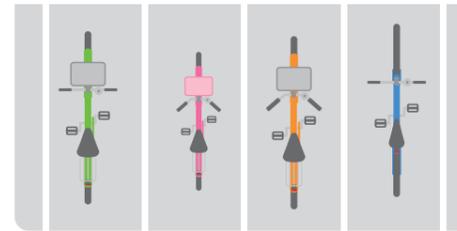
「1. 交通安全学習の充実」
さまざまな世代を対象とした自転車交通安全教室の開催や、インターネットを活用した交通安全動画の周知を行い、交通ルールやマナーの学習を推進します。



自転車交通安全教室実施状況

施策の柱Ⅱ とめる

駐輪場



通勤・通学・買い物など、駐輪のニーズが発生する場所を中心に、駐輪場サービスの「質」の向上や、放置自転車対策の徹底に取り組みます。

◆ 取組内容

1. 利用者ニーズに応じた駐輪場の利便性向上
2. IT等の技術を活用した駐輪場の運営
3. 放置自転車対策の推進

◆ ピックアップ取組

「1. 利用者ニーズに応じた駐輪場の利便性向上」
チャイルドシートや電動アシスト付きのサイズが大きい自転車用の駐輪スペースなど、利用者ニーズの多様化に応じた駐輪スペースを事業者と連携しながら設置していきます。



チャイルドシート付自転車駐輪スペース

施策の柱Ⅳ いかす



環境に優しく、心身の健康にも良い自転車を、暮らしの中のさまざまな場面で活用するとともに、観光分野での活用にも取り組みます。

◆ 取組内容

1. 環境負荷低減を目指した自転車活用の推進
2. 自転車を活用した健康づくりの推進
3. 観光やまちづくりでの自転車活用の推進

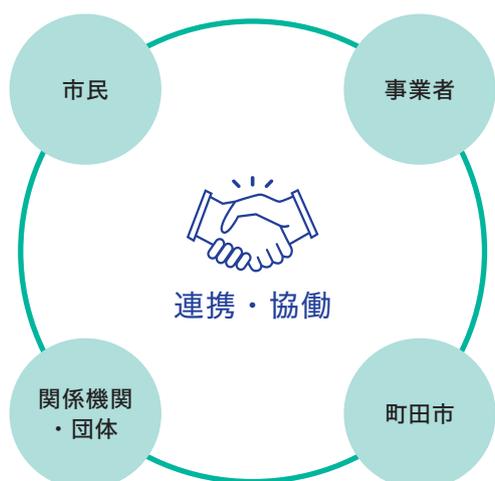
◆ ピックアップ取組

「2. 自転車を活用した健康づくりの推進」
毎年5月の「自転車月間」等に合わせ、自転車を活かした健康的なライフスタイルについて啓発するとともに、関係機関と連携して通勤・業務時の自転車利用促進に取り組みます。

	普通歩行	速歩	水泳	自転車(軽い負荷)
強度(メッツ)	3.0	4.0	8.0	4.0
運動時間	10分	10分	10分	20分
運動量(メッツ・時)	0.5	0.7	1.3	1.3

身体行動で消費するエネルギー

計画の推進体制



市民、事業者、関係機関・団体、行政等が連携・協働し、自転車活用の推進に向けてそれぞれが出来ることから取り組むように、町田市から積極的に働きかけ、計画の推進を図ります。

計画の進捗管理・評価

計画の進捗を測定する目安として、4つの施策の柱に対して以下の指標を設定します。指標の達成度合いは、町田市ホームページを通じて適宜公表していきます。

4つの施策の柱	指標	現状値	目標値
I はしる	自転車通行環境整備延長	3.2km (2021年度末)	6.6km (2026年度末)
II とめる	放置自転車数	8,572台 (2020年度)	2020年度比 10%減 (2026年度)
III まもる	自転車の安全利用に関する啓発人数	6,502人 (2019年)	9,000人 (2026年)
IV いかす	交通手段における自転車の利用割合	※ (2022年度)	現状値より増加 (2026年度)

※初回調査は2022年度に実施するため、その数値を現状値として取り扱います。

町田市 都市づくり部 交通事業推進課
所在地：町田市 森野 2-2-22
TEL：042-724-4261



詳細は町田市ホームページでご覧いただけます
2022年 3月 町田市

